

## 議 事 録

会 議 名	令和6年第2回春日井警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和6年6月14日（金） 午後3時から午後4時30分までの間 ----- 春日井警察署 講堂
出 席 者	<p>1 委員 佐藤 裕史 会長      堀 由美子 副会長 梶田 ひな子 委員    小倉 明美 委員 ノエル タイラ グラム 委員    堀 由美子 委員 高橋 克弥 委員      佐藤 幸子 委員    野村 英章 委員 古川 朋美 委員      稲垣 正彦 委員 以上11名（定数15名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員 渡辺署長      熊澤副署長      山本警務課長 橋爪会計課長    堀内生活安全課長    大西地域課長 鶴見刑事課長    田邊交通課長      吉田警備課長 以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等  なし</p>
諮 問 事 項 等	優秀な人材確保に向けた効果的な採用活動方策 ～ 警察官を志望する若者への警察業務の魅力発信～
答 申 等 の 概 要	<p>1 管内に所在する各学校への世代に合わせた積極的な働きかけ</p> <p>2 情報誌、新聞、SNS等、各種媒体を活用した広報活動のさらなる推進</p>
そ の 他	次回開催予定日 9月24日

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状の交付
	署長から、新委員に対し公安委員会からの委嘱状を伝達した。
2	署長挨拶等
	署長の自己紹介及び各幹部の紹介を実施した。
3	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	災害対策について警察署に求めること
	(2) 答申事項
	ア 警察、消防、行政、市民が一体となった取組の推進
	イ 減災のために準備を呼び掛ける広報活動の推進
	ウ 発生時の速やかな警戒活動の実施
	(3) 推進施策（警備課長説明）
	ア 答申事項アについて
	(ア) 新体制下における警察・消防・春日井市役所等との関係構築を実施
	(イ) 災害協定先との関係強化
	(ウ) 春日井市水防訓練の実施、安心安全フェアに参加
	イ 答申事項イについて
	(ア) 大型ショッピングセンターにおいて防災パネルの展示を実施
	(イ) 外国人留学生、実習生及び日本語学生に対し防災講話を実施
	(ウ) わいわいカーニバルに参加し、災害対策チェックリスト等を配布
	(I) 安心安全フェアに参加し、市民に対して防災意識高揚施策を実施
	ウ 答申事項ウについて
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
(ア) 新体制下における署員の自宅からの参集時間を集計し、時間ごとの	
任務付与マニュアルを作成予定	
(イ) 装備資器材訓練を実施	
(ウ) 全署員参加の安否確認訓練を実施	
(エ) 大規模災害の発生を想定した職場環境の整備	
4 諮問	
(1) 諮問事項	
優秀な人材確保に向けた効果的な採用活動方策	
～警察官を志望する若者への警察業務の魅力発信～	
(2) 警察官採用候補者試験の現状（警務課長説明）	
令和6年第1回試験が終了し、昨年に比べ申込者数が減少しており、大	
変厳しい状況である。また、合格後の辞退者も多く、定数の確保もできて	
いない状況である。	
(3) 現在の取り組み状況（警務課長説明）	
ア	ミニ業務説明会の随時開催
イ	職業講話、キャリア教育への参加、職場体験学習の受入れ
ウ	リクルーターによる勧誘活動
エ	管内の駅、各級学校に対する採用ポスターの掲示依頼
オ	第1次試験合格者に対する辞退防止活動
5 協議	
委員	・ 様々な取り組みを実施しているように感じる。
委員	・ 優秀な人材確保は警察も含め様々な企業や学校の共通の悩みであ
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
る。			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校では4年生のときに愛知県を守る仕組みとして、警察や消防の仕事を勉強している。そこで実際の警察官の話聞き、皆がかっこいいと思い「警察官になってもいいかも」といったことを言っている。このように生の声を聞く機会が将来の人材確保につながるのではないか。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将来の夢としてスポーツ選手をあげる生徒もいるが、自分の実力を知り、現実を見たときに、警察をひとつの選択肢として選ばれるようにできないか。</li> </ul>			
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職業を公務員にすると親も安心する。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS等を活用し合格者のみのコミュニティを作ったらどうか。そこに採用担当者は入らず、飽くまで合格者のみにすることや、入社式で初めて会う前に事前に知り合ったりすることで、仲間意識が高まり辞退防止につながるのではないか。</li> </ul>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察官や自衛隊、消防などの制服はとてもかっこいいと思う。若者が制服にあこがれる気持ちをいかに採用までつなげられるかがとても難しいところである。</li> </ul>			
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察というのは子供の憧れであり、素敵な仕事であるが、中学や高校など社会を経験するにつれ、その仕事が大変だとわかり、責任の重さを知ってしまい、受験しなかったり、合格しても辞退してしまうのではないか。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察という憧れの仕事が人生をかけていい仕事なのか、どれだけ</li> </ul>			
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

会議の経過及び発言の要旨	
	社会に重要なのか、憧れを失わせないように情報を発信し、次につ
	なげていくといいと思う。
委員	・ 私は飲食店をやっているが、現在あらゆる仕事においてハラスメ
	ント等の問題でなり手が少なくなっている。「職人」というの
	が少なくなっている。
	・ 私の店に採用のポスターを貼っている。今後も協力するので是非
	とも頑張してほしい。
委員	・ 少子化社会において警察や学校における優秀な人材の確保は大事
	な問題である。
	・ 現在警察の情報発信は目に留まりやすくなっていると感じる。
	・ 交番だよりや市の広報誌や新聞などあらゆる場所で市民の目に触
	れている。先日、春日井警察署が作った採用のチラシはとてもわか
	りやすくいいと思う。
	・ 春日井警察署が作成している交番だよりをもっと手に入りやすく
	してほしい。
	小さなことの積み重ねが浸透していくと思う。
委員	・ 公務員は安定しているというところを推していくといいと思う。
	・ 民間企業は早く内定が出るので、それで決めてしまうのかもしれ
	ない。辞退する人に聞くのは難しいかもしれないが、そこを何とか
	聴取して分析していく必要がある。親の立場からも就職先を早く決
	めて精神的に安定するのだと思う。早く就職が決まれば、残りの学
	生生活を有意義なものにしたい気持ちもあると思う。
	記録者 警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随時募集をかけているが、警察署に電話をするのはハードルが高いと思う。日付を設定して開催するのはどうか。また時間も様々な時間を設定すると良いと思う。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察学校での生活をもっと広報するといいと感じる。半年間生活する場所だから、イメージが湧くといいのかもしれない。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民間企業もインターンシップやオープンカンパニー、イベントへの出展を行っているが、なかなか効果的なものが見つからないのが現状であるが、夕方や夜間に実施したWEB形式での説明会や採用候補者に対するメールや電話での個別対応が効果的であった。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校1、2年生になると将来のことを考え始めるので、そこに焦点を当ててみたらどうか。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な学校を訪問して、リーフレットなどを配り、それぞれの年齢に的を絞ったイベントを開催してみてもどうか。</li> </ul>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小さい子供に警察の仕事をわかってもらうために、一緒に車に乗ってパトロールしたり、一緒にトレーニングしたりするのもいい。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 警察は事件の他にも酔っ払いの対応や不良少年の対応もしている。その様子をみた市民は「有り難いな」と感じている。警察はどんなささいなことでも手助けをしてくれているので県民や市民と接する機会を増やしていき、安心感を与えていくのも効果的ではないか。</li> </ul>		
6 答申			
(1) 管内に所在する各学校への世代に合わせた積極的な働きかけ			
(2) 情報誌、新聞、SNS等、各種媒体を活用した広報活動のさらなる推進			
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		